

## 名古屋市守山区におけるヤナギバルイラソウの記録

中村 肇

名古屋自然史談話会

The record of an alien plant species, *Ruellia simplex* (Acanthaceae)  
from Moriyama, Nagoya, Aichi, Japan

Hajime NAKAMURA

Nagoya Natural History Society

Correspondence:

Hajime NAKAMURA E-mail: nakamura@tameike.info

## はじめに

ヤナギバルイラソウ (*Ruellia simplex* = *R. brittoniana* = *R. tweediana*) は、キツネノマゴ科 (Acanthaceae) の多年草でメキシコ原産の園芸植物である (植村ほか, 2015). 国内では『ルエリア・トロピックスター (*Ruellia simplex* 'Tropic Star')』や『ルエリア・パープルシャワー



図1. 園芸店で販売されているヤナギバルイラソウ (*Ruellia simplex* 'Purple Showers')

(*Ruellia simplex* 'Purple Showers')』などの名称で園芸品種も販売されている (図1). また、近縁種の *Ruellia squarrosa* (ケブカルイラソウ) や *Ruellia tuberosa* (ムラサキルエリア), *Ruellia macrantha* (ルエリア・マ克蘭サ) など園芸植物として流通している.

本種は、6月から10月頃まで次々と花を咲かせて果実をつけ、その果実が成熟するとパンと音を立てて弾け自力で種子拡散するため、観賞用に植えられたものから周辺に種子が飛び、新たな場所へと分布を広げており、琉球、九州南部、四国南部など温暖な地域で増加し、近畿地方でも確認されている (長谷川, 2018). 愛知県内においては、名古屋市、豊川市、豊田市、蒲郡市、新城市、田原市で記録があるものの (愛知県, 2017), 個々の記録について継続的な報告はされていない.

また、本種は土壌がほとんどない乾燥した路面間隙や、かなり湿った場所でも生育できるだけでなく (長谷川, 2018), 排水溝や池、湿った森林などの湿潤環境に逸出した集団は数年以内に顕著に拡大することが報告されている (Natural Area Weeds: Mexican Petunia (*Ruellia simplex*), <https://edis.ifas.ufl.edu/pdffiles/EP/EP41500.pdf>, 2018年5月13日確認). そのため、野外に植栽逸出した本種が確認された場合には、その生育状況を注視するとともに、急激に拡大することが懸念される水辺環境で確認された場合には生態系への影響を考慮し早急な対策が必要である.

## 採集記録

筆者は、愛知県名古屋市守山区において植栽逸出したと考えられるヤナギバルイラソウを確認したので報告する（図2, 3）。ただし、本報においては詳細な採集地情報を伏せる。

なお、本調査で得られた証拠標本は筆者が保管している。

### *Ruellia simplex* C.Wright

ヤナギバルイラソウ

愛知県名古屋市守山区，2018.10.06，中村肇（1934）



図2. 名古屋市守山区で確認されたヤナギバルイラソウ

## 引用文献

愛知県. 2017. 愛知県の生物多様性 グリーンデータブック あいち2017－維管束植物編－. 愛知県環境部自然環境課，名古屋. 352 pp.

長谷川匡弘. 2018. プロジェクトA調査報告 ヤナギバルイラソウ. Nature Study, 64(4): 5.

植村修二・勝山輝男・清水矩宏・水田光雄・森田弘彦・廣田伸七・池原直樹. 2015. ヤナギバルイラソウ，増補改訂 日本帰化植物写真図鑑 第2巻，p. 235. 全国農村教育協会，東京.



図3. 名古屋市守山区で確認されたヤナギバルイラソウ（根元の様子）